

受験番号		名前	
------	--	----	--

平成 28 年度 大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テスト

幼稚園・小学校共通 教科専門 問題集 (択一式)

受験中の心得

- 1 試験時間中は、すべて試験監督の指示に従ってください。
- 2 試験開始後、まず名前を記入し、受験番号を次の〔記入例〕に従って黒くぬりつぶしてください。

〔記入例〕

名前 大阪 太郎

受験番号

A	1	B	2	C	3	D	4	E	5	F	6
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

↓
数字を記入し、それぞれの位をマークしてください。

A	1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B	2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C	3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
E	5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F	6	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

- 3 答は解答用紙に記入してください。
- 4 問題はいずれも五つの答えがでていますが、そのうち最も適切と思われる答えを一つ選んで、解答用紙の問題番号の右にある五つの数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。

〔解答例〕 1 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、正答は「3 東京」なので、解答用紙の問題番号1の右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

1
①
 ②
 ③
 ④
 ⑤

- 5 間違っぬりつぶしたときは、消ゴムでよく消してください。
- 6 問題は 24 問 (幼稚園、国語、社会、算数、理科) となっています。
- 7 時間は 90 分です。
- 8 途中退室はできません。
- 9 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 10 計算を必要とする場合は問題集の余白を利用してください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 幼稚園教育指導資料第5集（文部科学省 平成25年7月）には、「指導の過程における記録については、教師が自らの指導を振り返り、指導の改善に生かしていくために、全ての学校教育段階で重要視されています」と書かれている。また、記録への認識を深め保育に生かせるように、記録の意義について5つの視点から述べられている。

「幼児理解を基に次の保育を構成するために」という視点からの記述として、下線部の内容が正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

保育実践の過程は循環しており、その起点となるのは幼児理解です。幼児理解に基づいて教師は指導計画を立て保育を展開します。では、どのような視点で幼児を理解すれば指導計画のねらいや内容の設定、環境の構成などの作成につながるのでしょうか。幼児の年齢や時期によって異なりますが、次のような点が挙げられます。

- ・ 幼児の言動から、遊びの何に面白さを感じているのかを読み取る
- ・ そこでものや人とどのような関係を結んでいるのかを理解するとともに、課題も見いだす
- ・ その課題を乗り越えるのにどのような経験が必要なのかを考える
- ・ その経験を満たす可能性のある環境（遊び・活動を含む）は何かを考え、教師の場に応じた役割を考える（仲間になって動く、環境を提案・提示する等）
- ・ 結果として幼児一人一人の状態を平均的な発達の道筋に照らし合わせ、できるようになったかどうかを捉える

このような記録によって、教師は保育の過程を意識するようになり、幼児の実態に即した適切な環境を計画的に構成するようになります。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	○	×	×	×	×
2	×	○	○	○	○
3	×	○	○	×	○
4	×	×	×	○	×
5	○	○	○	×	○

2 次の各文のうち、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）（幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議 平成22年11月）に記載された内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

ア 幼児期から児童期にかけては、学びの芽生えの時期から自覚的な学びの時期への円滑な移行をいかに図るかが重要となる。「学びの芽生え」とは、学ぶということを意識しはじめ、与えられた課題を自分なりに理解して活動に取り組んでいくことであり、幼児期における活動の中での学びがこれに当たる。

イ 児童期の教育は、各教科等から構成されているが、幼児期の教育には発達段階を考慮して、遊びを通じた総合的な指導を行うという大きな違いがある。しかし、教育活動という視点から整理してみると、幼児期の教育と児童期（低学年）の教育は共に、直接的・具体的な対象とのかかわりを重視している点で共通点が見られる。

ウ 学びの基礎力の育成を図るため、幼児期（特に幼児期の終わり）から児童期（低学年）にかけての教育においては、「三つの自立」（学びの自立、生活上の自立、精神的な自立）を養うことが必要である。（中略）また、児童期及びそれ以降の教育においては、生涯にわたる学習基盤の形成、すなわち「学力の三つの要素」（「基礎的な知識・技能」、「課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」）の育成に特に意を用いなければならない。

エ 幼児期から児童期にかけての教育においては、自制心や耐性、規範意識が十分に育っていない、小学校1年生などの教室において、学習に集中できない、教員の話が聞けずに授業が成立しない（いわゆる「小1プロブレム」）などの課題を抱えている学校が見られる。これらの課題は、幼児期の教育の責に帰するものであり、解決のための取組を進めていかなければならない。

オ 接続期は、学びの基礎力の育成期間である幼児期と児童期の教育双方が接続を意識する期間であり、幼児期の教育から児童期の教育への準備期間や馴れの期間と捉えるべきである。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	○	○	×	×
2	○	×	○	×	○
3	×	×	×	○	○
4	○	×	×	×	○
5	×	○	×	○	×

3 次の各文のうち、幼稚園教育要領（平成 20 年 3 月告示）領域「健康」の内容についての記述として、正しいものの組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。

- ア 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
- イ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- ウ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
- エ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
- オ 幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
- カ 自分で考え、自分で行動する。

- 1 ア、ウ、オ
- 2 イ、オ
- 3 ア、エ、オ
- 4 ア、エ、カ
- 5 イ、ウ、カ

4 次の各文のうち、幼児期運動指針（幼児期運動指針策定委員会 平成 24 年 3 月）の「4 幼児期の運動の在り方」の中の「(2) 運動の行い方」についての記述として正しいものの組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。

- ア 幼児期に特定のスポーツ(運動)に取り組ませることは、運動を調整する能力の育成につながるため、毎日継続させることが望ましい。
- イ 幼児期の運動は、体に過剰な負担が生じることのない遊びを中心に展開される必要がある。
- ウ 多様な動きの獲得のためには、量(時間)的な保障も大切である。
- エ 運動に関する幼児の興味や関心、意欲の芽生えには個人差が大きいため、運動時間について、目安を持つことは避ける方がよい。

- 1 ア、イ
- 2 イ、エ
- 3 イ、ウ
- 4 ア、ウ
- 5 ア、エ

- 5 次の文章は、入園して間もない4歳児および当番活動を始めたばかりの5歳児と、教師のかかわりをとらえた事例である。幼稚園教育要領（平成20年3月告示）に照らし、幼児期における道徳性の芽生えを培うためにふさわしい教師のかかわりをA、Bにおいて選択し、その教師のかかわりに関する説明としてふさわしいものをC、Dにおいて選択したとき、正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

<事例1>（4歳児 5月）

幼稚園生活にもだいぶ慣れ、それぞれが思い思いの遊びを展開し始めた頃のことである。

T男とK太が、固定遊具の一つである吊り輪を巡って取り合いを始めた。吊り輪で遊んでいるT男に対して、K太が「かして」と何度も言っているが、T男は全く聞き入れない。K太の「かして」という言葉に対して、T男が「だめ」と、あっさりと答える。「かして」、「だめ」という2人のやり取りがしばらく続いていたが、T男が全く受け入れないのでK太はとうとう泣き出してしまった。

T男は、なぜK太が泣いているか理解していない様子なので、教師は、T男に対して「Tちゃんが使っているもの、Kちゃんも使いたいんだって。順番に使うように交代してあげてね」と言いながら、T男に対して、K太が悲しそうな表情をしていることに気付かせるようにした。

しかし、T男は「ぼく、乗ったばかりだから今はだめ」と言う。

A

ア. 「じゃあ、10数えたら交代ね」と教師が提案すると、T男が、しぶしぶではあるが、理解した様子なので、教師はK太と一緒に10数えることにした。

10数え終わり、T男は、教師の言葉を聞き入れて交代をする。

イ. 「Tちゃんが交代したくなるまで、先生と待とうね」と教師が提案すると、K太は理解した様子なので、教師はT男に「交代したくなったら教えてね」と声をかけた。T男が「もう、やめる」と言ったので、教師は、K太に対して「よく待ったね」と伝え、交代をさせる。

＜事例2＞（5歳児 5月）

昼食の時間になり、幼児たちはそれぞれにお弁当を並べ、食事をする準備を始めている。S男は一人、ぼんやりとしてドアの近くに立ったままである。教師が、どうしたのか尋ねると、「今日は、ぼくが、やかんの当番なのに、Rちゃんがやっている」と悔しそうに答える。

この学級では、5歳児になって当番活動を始めたばかりである。幼児たちは、当番をすることを楽しみに待っている。特に、幼児たちの間では、やかんの当番に人気があり、やりたいと思う幼児たちが順番を決め、当番の表をつくっていた。S男も、昨日から、「明日は、ぼくが当番」と、うれしそうに話していたらしい。

せっかく「今日はできる」と思っていたところが、R太が先にやかんを持ってきて、麦茶をコップに注いでいるのを見て、あわてたらしい。

R太は、昨日の当番だったので、教師は「ありがとう。でも、Sちゃんが今日の当番だから、もう大丈夫。Sちゃんとかわってあげて」と言ってみた。しかし、R太はかわろうとしない。「ぼくが、やるから」と言って譲らない。S男は、悔しくてR太の手を無理やり引っ張ったので、とうとうやかんの麦茶をこぼしてしまった。

こぼれた麦茶を見て、R太ははっとしたようだ。R太は、S男が懸命に自分の順番を主張していることに気づき、やかんを素直にS男に渡している。

B

ウ. R太が自分の行動の問題に気付いた様子なので、教師は、「Rちゃん、順番を守っていたら、こうならなかったよね」と声を掛け、R太が拭くのを見て、最後までこぼれた麦茶を拭くように知らせた。

エ. R太が自分の行動の問題に気付いた様子なので、教師は、「Rちゃん、ありがとう」と声を掛け、R太が拭くのを見て、一緒にこぼれた麦茶を拭くことにした。

C ＜事例1における教師のかかわりについての説明＞

オ. 幼児は、教師の働き掛けや誘い掛けが積極的であると、自らきまりの意味やその守り方に気づきにくくなる。したがって、幼児が、自ら行動するのを待つことが重要である。

カ. 幼児は、教師と一緒に行動しながら、あるいは教師の言葉に誘われて行動することを通して、徐々にきまりの意味やその守り方を知っていくので、教師の積極的な働き掛けが重要である。

D <事例2における教師のかかわりについての説明>

- キ. R太は、麦茶をこぼしてしまったことで、自分の行動の問題に気付き、その状況を理解した様子であったが、教師は、R太のあやまりを指摘している。R太に悪いことをしたことを、知らせたいと考えたからである。
- ク. R太が、麦茶をこぼしてしまったことで、自分の行動の問題に気付き、その状況をよく理解した様子なので、教師は、R太に対しそれ以上のことは言わずにいる。教師と一緒に寄り添い、その心を温かく受け止めることがR太の自信の回復につながると考えたからである。

	A	B	C	D
1	ア	ウ	カ	キ
2	イ	エ	オ	ク
3	イ	ウ	オ	キ
4	イ	エ	カ	ク
5	ア	エ	カ	ク

6 次の各文のうち、幼稚園教育要領解説（平成20年7月）領域「環境」の内容についての記述として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 幼児期において、自然に触れて生活することの意味は大きい。幼稚園生活の中でも、できるだけ身近な自然に触れる機会を多くし、幼児なりにその大きさ、美しさ、不思議さなどを全身で感じ取る体験をもつようにすることが大切である。
- 2 幼児は、初めて触る物に対して、感触を試したり確かめたりして、興味をもって物とのかかわりを楽しんでいるが、繰り返しかかると次第に興味は失われる。幼児が積極的に物にかかわりをもてるよう、常に新しいものを取り入れていくことが大切である。
- 3 幼児は日々の生活の中で季節の変化を感じる場面に出会うことは多い。また、幼児が意識する、しないにかかわらず、その変化に伴い、食べ物や衣服、生活の仕方などが変化している。大切なことは、日常的に自然に触れる機会を通して、幼児が季節の変化に気付いていくようにすることである。
- 4 幼稚園生活の中で、身近な物を大切にし、無駄なことをしないようにする気持ちを育てることが大切である。幼児は物に愛着をもつことから、次第にそれを大切にすることが育つので、一つ一つの物に愛着を抱くことができるように援助することが大切である。
- 5 幼稚園においては、国旗が掲揚されている運動会に参加したり、自分で国旗を作ったりして、日常生活の中で国旗に接するいろいろな機会をもたせることにより、自然に日本の国旗に親しみを感じるようにさせることが大切である。

7 次の文中の下線部について、幼稚園教育要領解説（平成 20 年 7 月）領域「言葉」の内容についての記述として誤っているものはどれか。 1～5 から一つ選べ。

幼児は、家庭や地域の生活で、文字などの記号の果たす役割とその意味を理解するようになると、自分でも文字などの記号を使いたいと思うようになる。また、幼稚園生活においては、複数の学級や教師、さらには、多くの友達などがいるために、1 その所属や名前の文字を読んだり、理解したりすることが必要になる。このような様々な必要感を背景にして幼児は文字などの記号に親しんでいくのである。

特に、友達と展開するごっこ遊びなどの中では、看板やメニュー、値段や名前などをそれぞれの幼児なりに読んだり、書いたりすることが少なくない。しかし、2 まだ読み書きする関心や能力は個人差が大きいため、文字などの記号に親しむことができるように教師は幼児一人一人に対して配慮する必要がある。また、3 文字などの記号に関心を抱く幼児は、5 歳児になるとある程度平仮名は読めるようになっていく。しかし、4 書くことについては、自分なりの書き方であることが多いので、そのようなときには、正しい文字や書き方を理解させることを念頭においた指導をすることが大切である。

幼稚園生活の中で、名前や標識、連絡や伝言、絵本や手紙などに触れながら、5 文字などの記号の果たす機能と役割に対する関心と理解が、それぞれの幼児にできるだけ自然な形で育っていくよう環境の構成に配慮することが必要である。

- 8 [A]に記載された各文は、幼稚園教育要領（平成20年3月告示）領域「表現」の「ねらい」および「内容」の一部抜粋である。[B]に記載されたア～エについて、[A]および幼稚園教育要領解説(平成20年7月)に照らし、教師の役割や教師として大切なこととして正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

A

[ねらい]
 いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

[内容]
 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

B

<教師の役割や、教師として大切なこと>

ア 幼児の感じている心の動きを受け止め、共感すること
 イ 柔軟な姿勢で一人一人の幼児と接し、教師自身も豊かな感性をもっていること
 ウ 一人一人の発想や素朴な表現を共感をもって受け止めること
 エ 幼児のもっているイメージを、どのように表現していくかを具体的に示しながら、イメージの世界に合った道具や用具、素材を用意し、構成した環境の中で、幼児が楽しめるようにすること

	ア	イ	ウ	エ
1	○	×	○	○
2	×	○	○	×
3	×	×	×	○
4	○	○	×	○
5	○	○	○	×

[9～11]

次の文章を読んで、問い9～11に答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：『議論のルールブック』岩田 宗之／著 株式会社新潮社
157 ページ 1 行目から 159 ページ 14 行目まで

9 次のうち、本文中の下線部①「フン」下線部②「サク」下線部③「ペキ」に相当する漢字を含むものの組合せとして正しいものはどれか。 1～5 から一つ選べ。

	①	②	③
1	書類を <u>フン</u> 失する	古都を散 <u>サク</u> する	文壇の双 <u>ヘキ</u>
2	書類を <u>フン</u> 失する	巻末の音訓 <u>サク</u> 引	文壇の双 <u>ヘキ</u>
3	書類を <u>フン</u> 失する	巻末の音訓 <u>サク</u> 引	鉄 <u>ペキ</u> の陣
4	<u>フン</u> 既に堪えない	巻末の音訓 <u>サク</u> 引	鉄 <u>ペキ</u> の陣
5	<u>フン</u> 既に堪えない	古都を散 <u>サク</u> する	鉄 <u>ペキ</u> の陣

10 本文中の空欄アに入る言葉として、正しいものはどれか。 1～5 から一つ選べ。

- 1 ゆえに、円周率を計算することはムダではないんだ
- 2 けれど、円周率を計算することはムダなんだ
- 3 それでも、円周率を計算することはムダではないんだ
- 4 だから、円周率を計算することはムダなんだ
- 5 したがって、円周率を計算することはムダではないんだ

11 本文で述べられている内容として、最も適切なものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ア 高等数学では、円周率の値を求め続けることより、円周率の性質や使い方について考えることが大切である。同様に、議論においても、ある問題についてひたすら議論を続ける方が、問題に対する見方を変えることより大切である。
- イ 議論は、主張同士を対立させてみるどころから始まるものであり、正しい答えがあるなら必ず対立は起こるので、議論では対立を恐れてはならない。
- ウ 円周率の値を求める場合、計算方法が見つければ比較的簡単に答えは出るように、議論においても、複雑な問題に取り組む場合、まず、議論の方法について議論することは絶対ムダではない。
- エ 正しい答えの全てを得なくては意味がないと考えてしまうと、何もできなくなってしまうので、自分にとってどれだけ正確な答えが必要なかをまず考えて、それに十分なだけ議論をすればよい。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 イ・ウ・エ
- 4 ア・ウ・エ
- 5 イ・エ

- 12 小学校第5学年の国語の授業で、「古文を声に出して読んでみよう」という単元を設定した。その学習活動の概要を次に示している。次のア～キの各文について、小学校学習指導要領（平成20年3月告示）に照らし、この単元全体で指導する事項や留意点に関する記述として、最も適切なものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

単元名 「古文を声に出して読んでみよう」	
単元計画（全3時間）	
時	学 習 活 動
1	○ 古文の読み聞かせを聞き、古文について知る。 ・「竹取物語」（冒頭部）の読み聞かせを聞く。 ・「竹取物語」は「かぐやひめ」の原作であることを知り古文という言葉を知る。 ・「竹取物語」の冒頭を教師の範読に続いて音読し、内容の大体を知る。
2	○ 古文の冒頭を音読する。 ・「徒然草」「平家物語」の冒頭を音読する。 ・それぞれの解説の文章を読んで内容の大体を知る。 ・言葉のリズムや響き、文章の内容などに着目し、興味をもったところを紹介し合う。
3	○ 他の古文へと興味を広げ、音読する。 ・「枕草子」「奥の細道」「方丈記」「土佐日記」「源氏物語」などの冒頭を示し、教師の範読に続いて音読する。 ・各自お気に入りの古文の冒頭を選び、視写や暗唱をした後、グループ内で発表する。

- イ 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするように指導する。
 ウ 古文に親しみがもてるように、複数の作品を選んで比べて読むように指導する。
 エ 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読するように指導する。
 オ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うように指導する。
 カ 古文や漢文は、読んで楽しいものであること、自分を豊かにするものであることを実感させるように指導する。
 キ 書いたものを読み合い、よいところ見つけて感想を伝え合うように指導する。

- 1 イ ・ ウ ・ カ
 2 ア ・ ウ ・ オ
 3 ウ ・ エ ・ カ
 4 エ ・ カ ・ キ
 5 ア ・ エ ・ カ

13 次のア～エの各文は、1920年代から1930年代の各国の政治状況や政策を述べたものである。これらの文と国の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

ア この国は、工業化や農業の集団化による社会主義政策を進め、「五カ年計画（第1次）」とよばれる経済政策を始めた。

イ この国は、ファシスト党が政権につき独裁政治を行っていたが、恐慌の影響を受けて、経済の混乱を打開するため、エチオピアを侵略した。

ウ この国は、オタワ協定によって伝統的な自由貿易主義を捨て、植民地と結んで経済地域を設定し、その内部だけの安定と保護をはかった。

エ この国は、失業者救済を目的にダム建設などの公共事業をおこし、労働者の権利を保護するなど政府の積極的な不況対策により、景気の回復を図った。

	ア	イ	ウ	エ
1	ソ 連	イタリア	イギリス	アメリカ
2	ソ 連	ド イ ツ	イギリス	アメリカ
3	中 国	ド イ ツ	フランス	イギリス
4	ソ 連	イタリア	フランス	イギリス
5	中 国	ド イ ツ	イギリス	アメリカ

14 次の各文は、明治時代における国力の充実と条約改正に関する記述である。年代順に並べた場合、3番目にあたる内容はどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 政府は、欧米列強と対等な地位を確立するために法典編纂を進め、この年に大日本帝国憲法を公布した。
- 2 小村寿太郎外相は、アメリカ・イギリス・ドイツなどとの条約を改正し、関税自主権を回復した。
- 3 政府は、主として軍需用鉄鋼を生産するため、八幡製鐵（鉄）所の操業を開始した。
- 4 日本は朝鮮・満州の支配をめぐるロシアと戦争を始め、翌年、講和条約に調印した。
- 5 陸奥宗光外相の在任中、清との戦争が始まる直前に、政府は日英通商航海条約を結び、領事裁判権（治外法権）を撤廃した。

15 次の各文は、ユネスコ（UNESCO）の世界自然遺産に登録されている日本の4つの地域についての記述である。文中のア～エにあてはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

- ・知床は、北海道の（ア）部に位置し、火山活動などによって形成された山々、切り立つ海岸断崖、湿原・湖沼群などにより構成され、海と陸の生態系の相互関係や、生物多様性を見ることができる。
- ・白神山地は、（イ）と秋田県にまたがる山岳地帯で、広大で原生的な状態で残存するブナ林は、動植物相の多様性で世界的に特異な森林である。
- ・屋久島は、（ウ）と太平洋の間に位置し、温暖多雨な気候で、多数の河川と深い谷の自然景観、多くの固有種や希少種を含む生物相、植生の典型的な垂直分布が見られる。
- ・小笠原諸島は、東京から南に約（エ）離れた位置にあり、海洋生物種から陸上生物種への進化等、大陸と一度も陸続きとなったことがない海洋生態系における進化の過程が見られる。

	ア	イ	ウ	エ
1	北東	青森県	東シナ海	500 km
2	北西	岩手県	東シナ海	500 km
3	北東	岩手県	日本海	500 km
4	北西	青森県	日本海	1000 km
5	北東	青森県	東シナ海	1000 km

16 小学校第4学年の社会科の授業で、廃棄物の処理について学習する単元を設定した。小学校学習指導要領（平成20年3月告示）に照らし、次の各文のうち、この単元における指導内容や留意点に関する記述として、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。

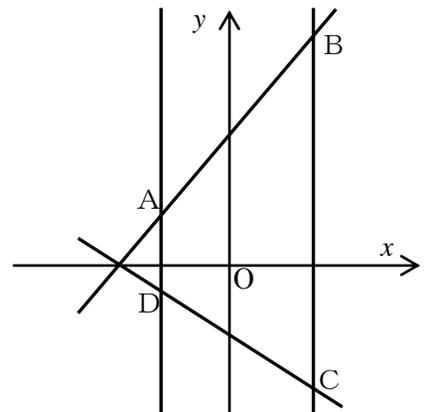
- 1 廃棄物の処理については、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げ、廃棄物を資源として活用していることについても扱う。
- 2 廃棄物の処理に必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考える。
- 3 廃棄物の処理についての対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考える。
- 4 廃棄物の処理についての対策や事業は計画的、協力的に進められていることを、見学、調査したり資料を活用したりして調べる。
- 5 廃棄物の処理にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱う。

17 1 から 50 までの整数の中に、素数はいくつあるか。1 ~ 5 から 1 つ選べ。

- 1 14 個
- 2 15 個
- 3 16 個
- 4 17 個
- 5 18 個

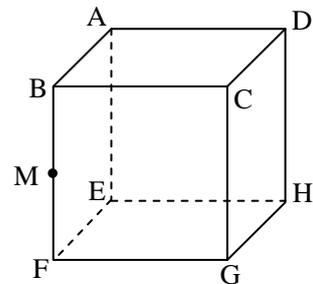
18 図のように、直線 $AB : y = x + 4$ 、直線 $CD : y = -\frac{1}{2}x - 2$ 、直線

$BC : x = 4$ 、直線 $AD : x = -2$ がある。この 4 つの直線に囲まれた四角形 $ABCD$ の面積はいくらか。1 ~ 5 から一つ選べ。



- 1 36
- 2 42
- 3 45
- 4 48
- 5 51

19 図の立方体 $ABCD-EFGH$ において、辺 BF の中点を点 M とする。この立方体を点 A 、 M 、 G を通る平面で切断したとき、切り口はどのような図形になるか。1 ~ 5 から一つ選べ。



- 1 ひし形
- 2 二等辺三角形
- 3 直角三角形
- 4 正方形
- 5 長方形

20 小学校学習指導要領（平成 20 年 3 月告示）算数における、第 4 学年の内容「A 数と計算」には、次のような記述がある。

- (5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。
- ア 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。

以上のことをふまえ、次の文のうち、1.68 を「数の相対的な大きさ」としてとらえているものを 1～5 から一つ選べ。

- 1 1.68 は、1 よりも 0.68 だけ大きい数である。
- 2 1.68 は、1.2 に 1.4 をかけた数である。
- 3 1.68 は、1 と 0.68 を合わせた数である。
- 4 1.68 は、0.01 が 168 集まった数である。
- 5 1.68 は、1.6 と 0.08 を合わせた数である。

21 5 つの気体 A～E がある。それらは、 H_2 、 Cl_2 、 CO_2 、 O_2 、 NH_3 のいずれかである。次のア～ウの記述より、それらの気体 A～E の組合せとして正しいものはどれか。1～5 から一つ選べ。

ア 気体 A～E の水に対する溶け方は、気体 B、E は水に溶けやすく、気体 C は気体 B、E

ほどではないが水に溶け、気体 A、D は溶けにくい。

イ 気体 B をフェノールフタレイン溶液に溶かすと、赤色に変化する。

ウ 気体 A は、うすい過酸化水素水に二酸化マンガンを加えると発生する。

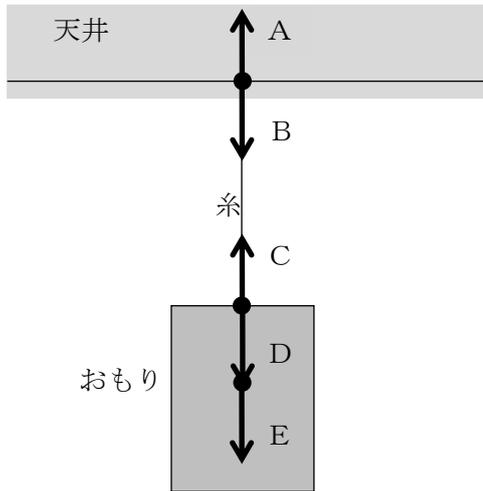
	A	B	C	D	E
1	O_2	NH_3	CO_2	H_2	Cl_2
2	H_2	CO_2	Cl_2	O_2	NH_3
3	O_2	NH_3	Cl_2	H_2	CO_2
4	H_2	NH_3	Cl_2	O_2	CO_2
5	O_2	CO_2	H_2	NH_3	Cl_2

22 次のア～オの各文のうち、内容が正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ア イルカは、体温がほぼ一定で肺呼吸する特徴があり、哺乳類に分類される。
イ カメは、陸上で産卵する特徴があり、爬虫類に分類される。
ウ コウモリは、翼をもち飛行する特徴があり、鳥類に分類される。
エ ダンゴムシは、外骨格をもち陸上で生活する特徴があり、甲殻類に分類される。
オ チョウは、頭部に口や触角、胸部に3対のあし、腹部に2対のはねをもつ特徴があり、昆虫類に分類される。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	○	○	×	×	×
2	×	×	○	○	○
3	×	○	○	×	○
4	○	○	×	○	×
5	○	×	○	×	×

23 次の図のように、天井からつりさげた糸におもりをつるして静止させた。矢印A～Eは、天井、糸やおもりにはたらく力の一部を示したものである。このとき、次の文中の（ア）～（エ）にあてはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、糸の質量は考えないものとする。



つり合いの関係にあるのは（ア）と（イ）で、作用・反作用の関係にあるのは（ウ）と（エ）である。

	ア	イ	ウ	エ
1	AとB	CとD	AとE	CとE
2	AとD	CとE	AとB	CとD
3	AとE	CとD	AとB	CとE
4	CとD	CとE	AとB	AとD
5	AとD	AとE	CとD	CとE

24 次の各文のうち、小学校学習指導要領（平成 20 年 3 月告示）理科の内容区分「A 物質・エネルギー」における記述として、下線部が誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 第3学年には、「鏡などを使い、光の進み方や物に光が当たったときの明るさや暖かさを調べ、光の性質についての考えをもつことができるようにする」と記述されている。
- 2 第4学年には、「乾電池や光電池に豆電球やモーターなどをつなぎ、乾電池や光電池の働きを調べ、電気の働きについての考えをもつことができるようにする」と記述されている。
- 3 第5学年には、「電磁石の導線に電流を流し、電磁石の強さの変化を調べ、電流の働きについての考えをもつことができるようにする」と記述されている。
- 4 第5学年には、「てこを使い、力の加わる位置や大きさを変えて、てこの仕組みや働きを調べ、てこの規則性についての考えをもつことができるようにする」と記述されている。
- 5 第6学年には、「手回し発電機などを使い、電気の利用の仕方を調べ、電気の性質や働きについての考えをもつことができるようにする」と記述されている。